

医療向けウィッグに
対する助成制度の
導入について



高野 礼子 議員

質問…抗がん剤による副作用で
脱毛してしまった方をどのよう
に捉えているのか伺います。

答弁…今や2人に1人がガンに
なると言われている時代で、ガ
ンとの闘いは決して他人事では
ない、明日は我が身に起こって
も不思議ではない病気でありま
す。現在は医療も進歩しており、
さまざまなガン治療も取り入れ
られておりますが、特に女性が悩

むのは、副作用で痛みや吐き気
よりも髪の毛や眉毛、まつ毛の
脱毛という調査結果もあるよう
です。

質問…医療用かつらの購入費用
の助成に対する市の考え方を伺
います。

答弁…市民には予防という観点
から健康づくりに励んでもらう
ために、健幸ポイントプロジェクト
事業の導入や検診の無料化

など他市町と比較してもより多
くの費用を検診と予防にかけて
います。しかしガンになってし
まった場合、女性やお子さんは
髪の毛がないことには抵抗があ
るようです。

今後財政状況等も勘案しなが
ら、医療用かつらの購入費用等
の助成の検討をさせて頂きたい
と思っております。

一般質問

防犯灯の調査及び
設置について



秋山 幸子 議員

質問…若者や学生が学費や生計
に役立てるため、アルバイトに
従事していることは少なくあり
ません。国際医療福祉大学の学
生が図書館で勉強し、市内への
坂道を自転車で帰宅する時はも
う真っ暗です。また市内のコン
ビニの周りは明るくても、途中
の道が暗いため改善してほしい
との声が届いています。市内を
調査し、安全安心のために防犯灯

の設置を求めます。

答弁…防犯灯は、夜間の犯罪を
未然に防止し、市民の皆さまが
安全で安心して暮らせるまちづ
くりの推進を目的に設置し、平
成28年4月1日現在、市内66
14箇所に設置しております。

東日本大震災後、灯具のLED
D化を進め、節電と省エネルギー
に努めていることから、防犯灯
の新規設置は毎年1自治会につ

き要望基数を原則3基までとし
ております。地元に通じてい
る市政事務嘱託員である自治会
長に自治会内の要望箇所の取り
まとめをお願いしているところ
です。

自治会長より新規設置のご要
望をいただいた箇所については、
現地調査をすることで対応した
いと考えています。